

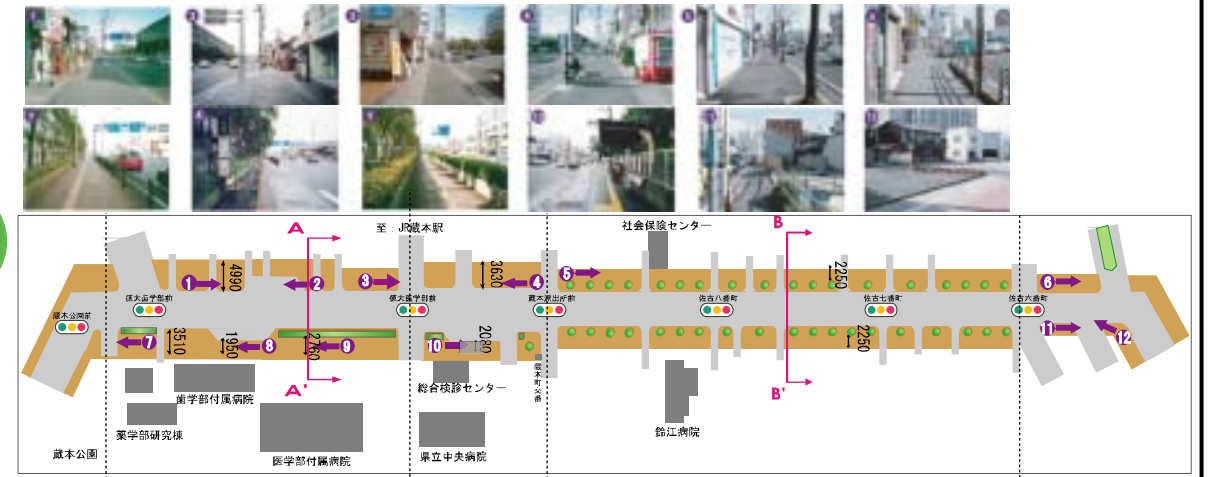
(2) 街路樹の配置について

今回の検討区間では、現在、高木のある区間、植樹帯（低木）のある区間、植樹のない区間とが混在しています。これをふまえ、今後どのような街路樹配置としていくか検討しました。

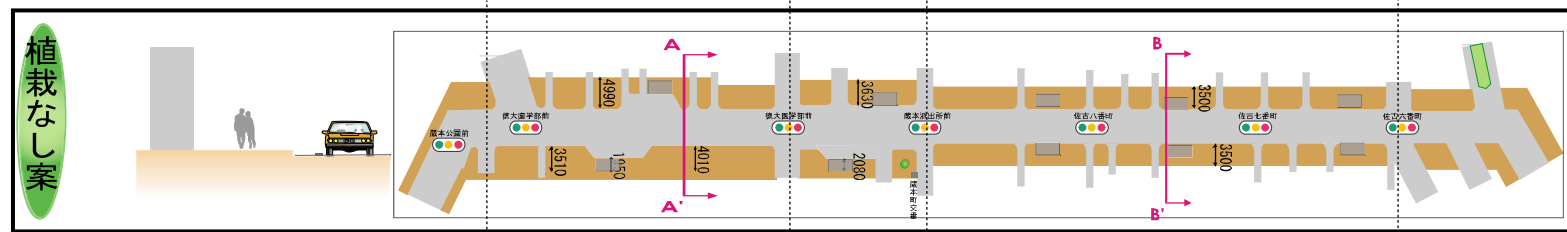
歩道幅員が狭い関係上、連続的に植樹帯（低木）を設けることはできないため、植樹をせずに歩行空間を広く確保する案と、高木を一定間隔で植樹し景観と歩きやすさの双方に配慮する案の2つを事務局より提案しました。

その結果、狭い歩道幅員を最大限有効に活用したいとのご意見、街路樹の落葉等による沿道への支障を懸念するご意見が出され、「植樹をせずに歩行空間を広く確保する案」を採用することで一致しました。ただし、蔵本町交番付近の歩道内の大木はそのまま残すことになりました。

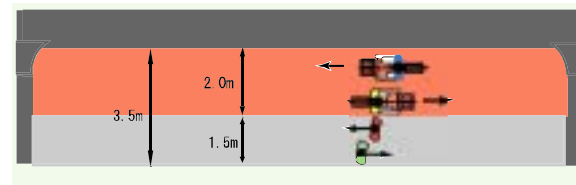
現況



植樹をせずに歩行空間を広く確保する案



歩道幅員の考え方



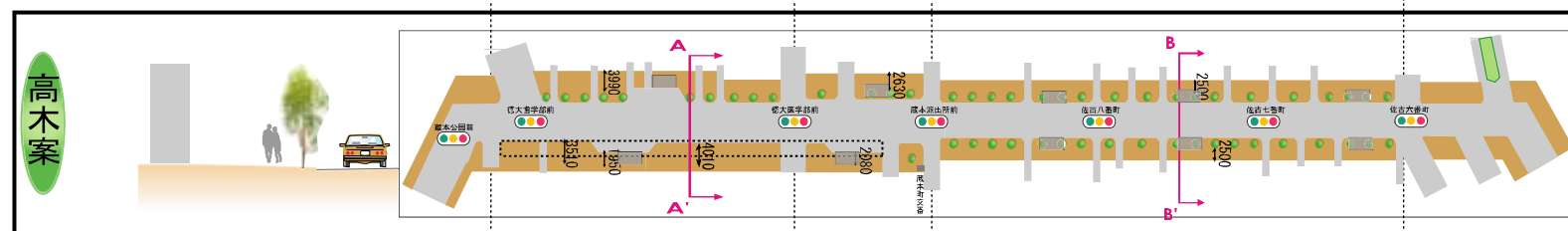
歩道部イメージ



道路全体イメージ

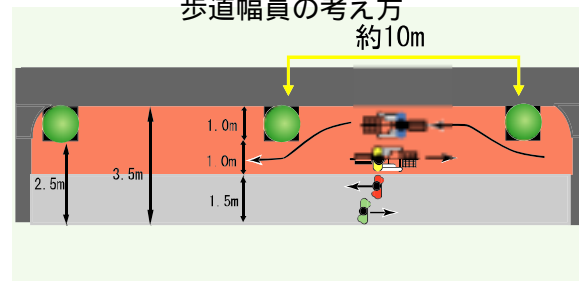


高木を一定間隔で植樹し景観と歩きやすさの双方に配慮する案



点線部は水路が埋まっており高木の配置は行えません。

歩道幅員の考え方
約10m



歩道部イメージ



道路全体イメージ

